

抗酸菌(結核菌など)検査—その①—

「痰」は健康のバロメータ！健康な方でも毎日 100cc の痰のもとになる液が肺や気道、気管などから出ています。肺や気管、気管支に異常があれば、より多くの痰が出るようになり、その痰を調べることで多くの病気の原因がわかります。しかし、患者さんにとって、検査に適した良い痰を出すことはしばしば困難であり、ほとんどが唾液であることが多く、検査材料としては不向きな検体も少なくありません。

今回は喀痰の採り方の簡単な説明とメディカルセンター細菌検査室での過去 7 年間の抗酸菌の検出状況をまとめてみました。

◎抗酸菌検査に適した喀痰の採り方

1. 起床時に採取します。
2. 歯を磨き水道水で良くうがいをして、口の中を清潔にします。
(口の中には細菌などの微生物がたくさんいます。これらが多量に材料中に入ると良い検査ができません。)
3. 深く息を吸って強い咳とともに痰を出します。
(痰は肺の方から出てくるものが検査に適しています。鼻汁を混ぜてはいけません。)
4. 検査用容器の中に膿性部分のある痰をできるだけ多く採って下さい。
5. 痰を採ったら容器のフタを、漏れないようにしっかり閉めてください。
6. できるだけ速やかに検査室に提出する。提出できない場合は冷蔵庫で保管してください。
(暖かい室温に長時間放置すると雑菌が繁殖し、正しい検査結果が得られない場合があります。)

抗酸菌の検出状況 (2000—2006)

菌種	分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	Total
<i>M.tuberculosis</i>	結核菌	6	8	2	7	3	5	3	34
<i>M.avium</i>	非結核性抗酸菌	3	7	4	3	2	8	14	41
<i>M.intracellulare</i>		0	3	1	0	4	4	1	13
<i>M.kansasii</i>		2	3	1	1	1	0	1	9
<i>M.gordonae</i>		0	0	0	0	1	1	7	9
<i>M.chelonae</i>		0	0	1	0	0	1	1	3
<i>M.abscessus</i>		0	0	0	0	0	1	0	1
<i>M.terrae</i>		0	0	0	0	0	2	0	2
<i>M.fortuitum</i>		0	0	0	0	0	1	0	1
<i>M.nonchromogenicum</i>		0	0	1	0	0	0	0	1